

【水の里の旅コンテスト2019 応募企画】

【一般部門】

美祢市総合政策部 地方創生推進室

『3億5,000万年の大地と水の恵みを味わう！Mineのジオ旅』

(観光地域：山口県 美祢市(秋吉台周辺))

【日程】	2泊3日		
【実施時期】	夏・秋		
【催行人員】	6~12名程度	【お勧めする旅行者層】	都市部在住者
【旅行代金】	約28,000円 ／大人1名	【内訳】 1日目：泉流亭(昼食)約500円、ジオガイド5,000円(半日、人数で折半)、秋芳洞入洞料1,300円、桂月(宿泊費)約15,000円(1泊2食付) 2日目：そば打ち体験(昼食)1,200円、梨狩り(お土産2玉付)1,000円、FIRE HILL(夕食)3,700円、古民家ゲストハウスひまわり(宿泊費)3,240円~4,320円(素泊まり、部屋により変動) 3日目：流しそうめん(昼食)約700円	
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>～ジオ旅 Concept～</p> <p>美祢市は、平成27年9月に「Mine秋吉台ジオパーク」として、市全域が日本ジオパークに認定されました。</p> <p>ジオパークとは、「地球・大地(ジオ/Geo)」と「公園(パーク/Park)」を組み合わせた言葉で、『大地の公園』を意味し、目の前に広がる風景やそこに住む人々の暮らしを手がかりに、沢山の「地球ってすごい!」を感じられる場所のことです。</p> <p>Mine秋吉台ジオパークでは、地域住民がガイドとなって”すごい”を見つける旅(「ジオツアー」と呼ばれます)に出かけることができます。</p> <p>美祢市では、観光客のみならず、地域の子どもから大人までもがその魅力を肌で感じながら生活をしています。</p> <p>今回巡るのは、Mine秋吉台ジオパークの中央部「秋吉台地域」。地上には、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」が広がります。目線を下に向けてみると・・・その広大な台地の下には、浸蝕によってできた割れ目や竪穴から地表水が集まってできた豊富なカルスト水系が発達しています。</p> <p>この地下水系は、平成17年にラムサール条約「条約湿地」に登録され、大小500余りの洞窟が発見されており、6種2万頭を超えるコウモリをはじめ、エビやキノコなどの希少な動植物が確認されています。</p> <p>また、この地域が生む豊富な水は、市南部に接し瀬戸内側に位置する宇部市の水源でもあり、多くの人の生活を支える水でもあります。</p> <p>山口県唯一のラムサール条約登録湿地をはじめ、豊かな水源スポットを中心に巡る中で、台地が育む壮大な自然の恵みと地域住民の日常生活を五感で楽しめる旅です。</p> <p>～ジオ旅イチオシ Point～</p> <p>◎願いが叶う?! パワースポット</p> <p>旅のメイン! 環境省選定の日本名水百選に選ばれているコバルトブルー色が神秘的な「別府弁天池」。その名水を使用した日本酒づくりを行う洗練された酒蔵にも立ち寄ります。</p> <p>白濁した湧水と霞が神秘的! もう1つの池「白水の池」。別世界に迷い込んだかのような静寂の中で非日常を感じよう!</p> <p>◎自然の素材そのものを味わおう!</p> <p>名水で育った「ニジマス」、カルスト台地の産物「秋芳梨」・「梶岡牛と有機野菜」、空気と水が隠し味「そば打ち体験」。</p> <p>自然の恵みってこんなに美味しい!</p> <p>温泉に浸かった後は、旅館でゆっくりと、とっておきの美食や地酒を味わえます。</p> <p>◎壮大な自然に包まれて・・・</p> <p>一面の石灰石と大草原のカルスト台地「秋吉台」、巨大地底空間「秋芳洞」で、3億5,000万年の歴史のロマンを体感しよう!</p> <p style="text-align: center;">大地の歴史と豊富な水と生きる地域の人々の暮らしを五感で感じる、ヘルシー&フレッシュな3日間。 全身でパワーチャージしてください!</p> <p>※詳細な行程と各観光ポイントは下記を参照ください。 ※各観光ポイントの「ジオサイト」とは、Mine秋吉台ジオパークの見どころで、共通の説明パネルが設置されています。 ※今回は、自家用車またはレンタカーを使用した旅ですので、普通自動車運転免許を持つ人が1人以上必要です。</p>			

【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
<ul style="list-style-type: none"> ・全行程を通して、危険なエリアへの立ち入りはありません。 ・1日目の午後からは事前予約制の有料ジオガイドを付帯し、安全・安心のジオ旅を楽しみましょう。 ・洞窟は気温が低いので、羽織る物を持参しましょう。 ・アレルギー（そば、小麦）のある方は、十分注意しましょう。 ・池（2か所）、ニジマス釣堀、滝壺（水神公園）等、水辺に近づくことが多いので、子どもが参加する場合は保護者の同伴が望ましいです。 ・飲酒運転は絶対にやめましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・目的地を秋吉台周辺に留めることで、移動距離・時間を短縮し、その地域で暮らすように観光できます。 ・地元団体による体験（そば打ち：秋芳八代振興会）を取り入れています。地元の温かいおもてなしと、地域の歴史と地域づくりの取組の説明を受けながら安心して過ごすことができます。 ・温泉宿とゲストハウスの両方を組み込んでいます。 温泉宿では地元食材を使用した豪華な食事と優雅なくつろぎの時間を過ごすことができ、ゲストハウスでは大きな窓から田園風景を眺めながら宿泊者同士の交流のひとつを過ごすことができます。 	
【インバウンド対応のための工夫】			
<ul style="list-style-type: none"> ・秋吉台・秋芳洞の案内表示、秋芳洞内の音声説明は多言語（英語・韓国語・中国語）対応。 ・Mine 秋吉台ジオパークセンターには、英語対応可能なイギリス人国際交流員（認定ジオガイド資格保持者）が常駐。事前予約で休日もガイド対応可能。 ・立ち寄る「ジオサイト」の案内パネルは、全て日本語・英語併記。 ・ハラルフード対応については、各飲食店に事前に要相談（桂月・FIRE HILL）。 			
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① 泉流庭	1日目の昼食	⑥ 秋芳梨生産販売協同組合	梨狩り
② 大嶺酒造株式会社	店内の説明、販売	⑦ (有)梶岡牧場 FIRE HILL	2日目の夕食・場内散策
③ Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会	ジオガイド	⑧ 古民家ゲストハウス ひまわり	2日目の宿泊
④ 天宿の杜 桂月	1日目の夕食・宿泊	⑨ 西寺水神公園（西寺自治会）	3日目の昼食
⑤ 秋芳八代ぬくもりの里 （秋芳八代振興会）	そば打ち体験、地域説明 ほか	⑩ 道の駅おふく（美祢観光開発株）	買い物
【特記事項】	自家用車またはレンタカーを使用します。 レンタカー営業所：JR 新山口駅・JR 厚狭駅・山口宇部空港等にございます。		
【催行実績】	無		

【 行程表 】	
1日目	11:00 別府弁天池（昼食：鱒料理「泉流庭」）～12:30 大嶺酒造（カフェ・展示スペース見学） ～13:30 カルストロードドライブ～14:00 秋吉台散策（mine 秋吉台ジオパークセンター「Karstar」、秋吉台科学博物館） ～16:00 秋芳洞入洞～18:00 天宿の杜桂月（夕食・宿泊）
2日目	9:00 ホテル出発～9:30 白水の池～11:00 秋芳八代ぬくもりの里（昼食：そば打ち体験）～13:30 半田弁天湧泉 ～15:00 秋芳梨狩り～17:30 梶岡牧場（夕食：バーベキュー「FIRE HILL」） ～20:00 古民家ゲストハウスひまわり（宿泊）
3日目	9:00 宿出発～10:00 江原ウバーレ集落～11:00 西寺水神公園（散策・昼食：そうめん流し） ～13:00 道の駅おふく（買い物、温泉、足湯）～解散

【 主な観光ポイント 】		
【 別府弁天池 】※ジオサイト	【 泉流庭 】	【 大嶺酒造株式会社 】
 <p>深いエメラルドグリーン色に輝く水面が美しいパワースポット。この地域の地質である石灰岩は、雨水に溶かされやすいため、地下水路が複雑に発達しており、この池は池の北西にある花尾山から流れる地下水が断層沿いに湧出したものであるといわれています。古くからこの水は生活用水や農業用水に使用されており、現在ではニジマスやチョウザメの養殖も行われています。併設の水汲み場は、遠方から汲みに来る人で賑わいます。池のほとりの厳島神社では、毎年9月第1日曜日には、水の恵みへの感謝と豊作を祈る本殿祭が行われ、近隣の秋芳桂花小学校の児童による念仏踊り（山口県無形文化財に指定）が奉納されます。</p>	 <p>別府弁天池のほとりににはニジマスの養殖場や釣堀があり、観光客がマス釣りを楽しめます。池のそばの飲食店（2店舗）では、通常のマス料理のメニューのほか、自分で釣った鱒を背越し・焼き・素揚げ・フライ等お好みで調理してくれるサービスもあり、出来立ての料理が味わえます。</p> <p>池の入口には直売所があり、マスのフライを挟んだマスバーガー、マススティック（揚げ春巻き）、マス寿司などが販売されており、その場ではもちろん、移動の車で食べるのもおすすめです。別府弁天池の綺麗な水で育ったニジマスは臭みも少なく、子どもにも大人気！</p>	 <p>別府弁天池から約2kmに位置。50年もの間休眠状態だった酒蔵を2009年に復活させ、別府弁天池の水を使用した日本酒ブランド「Ohmine」を新たにスタート。白桃やマスカットを思わせる爽やかな香りが特徴です。今では世界7カ国への輸出が生産量の2割を占めています。「文化や伝統を尊重し、現代の技術をもって先人達の成し得なかった日本酒を創造したい、醸造に情熱と好奇心を持って地域の気候とアイデンティティを表現するような日本酒を創り続けたい」と話す、情熱あふれる若き社長。地域の志高き若者の雇用の場としての役割も果たしています。併設カフェでは日本酒の仕込み水で淹れたコーヒーも楽しめます。</p>
【 秋吉台 】※ジオサイト	【 秋吉台ジオパークセンターKarstar 】	【 秋芳洞 】※ジオサイト
 <p>総面積93km²の日本最大のカルスト台地。秋吉台を南北に走る「カルストロード」では、車のCMにも使われる壮大な景色が楽しめます。台上には展望台や博物館、観光案内所（全て無料！）があり、歩いて・眺めて・学んで楽しめる国定公園です。</p> <p>国内有数の採掘量を誇る良質で潤沢な石灰石は、大手セメント会社3社が鉱山を保有し、古くから地域の主幹産業として発展してきました。</p> <p>石灰岩はCO₂を含む雨水や地下水に溶ける性質があるため、周辺地域ではカルシウムイオンを多く含む水が流れています。このため、水道水を何度も煮沸する鍋や電気ポットなどの底は真っ白になります。これはカルシウムイオンが反応してできた炭酸カルシウムで、この地域で日常的に見られる生活風景です。</p>	 <p>Mine 秋吉台ジオパークセンター「Karstar（カルスター）」は、ジオパークの情報発信を行う観光案内所、コーヒースタンドを併設する無料休憩所で、秋吉台の大自然が大きな窓から一望できる大迫力のパノラマビュー。</p> <p>夏は空の青と草原の緑に真っ白な石灰岩が映え、また秋の夕暮れ時には一面のススキに夕陽が当たり金色に光る景色が魅力です。</p> <p>「Karstar」は、秋吉台の輝く一番星のように、この地のランドマークになることを願い「カルスト」と「スター（星）」を合わせて名づけられました。スイーツやグッズも販売しています。FREE Wi-Fi、充電スポット完備。</p>	 <p>日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞（あきよしどう）」。</p> <p>ひんやり肌をさす冷気漂う杉木立を通り抜けると、秋芳洞正面入口です。洞内の観光コースは約1km（総延長は10.7kmを越え国内第2位）、温度は四季を通じて17℃で一定し、夏涼しく冬は温かく、快適に観光できます。時間が凍結したような不思議な自然の造形の数々は変化に富み、大きな感動を与えてくれます。</p> <p>洞内には、高さ30m・幅20mの国内最大の地下空間、500枚を超える棚田のような「百枚皿」、高さ15mの巨大な石柱「黄金柱」、「クラゲの滝登り」と称される滝上石灰華など、迫力ある見どころが満載です。</p> <p>オススメは、正面入口を洞内からみた景色。差し込む光が水面に反射し天井を青く染め、幻想的な写真を撮ることができる「映えスポット」です。</p>

【 天宿の杜 桂月 】	【 白水の池 】※ジオサイト	【 秋芳八代ぬくもりの里 】
 <p style="text-align: right;">写真出典：天宿の杜桂月 HP</p>		
<p>秋吉台・秋芳洞から一番近く、飛鳥時代から 1400 年の歴史を持つ温泉を備える宿が 2016 年にリニューアルオープンしました。</p> <p>高台に建つ数寄屋造りの建物と、一面の窓から日本庭園と山々を眺望する上品な客室は、古き良き落ち着いた雰囲気。夜にはライトアップされる中庭に面したテラスを併設する御食事処で、三方を海に囲まれた山口県ならではの海の幸・美祢市の潤沢な山の幸を使用した豪華な懐石料理の夕食と、驚きの品数で話題の和風の朝食が楽しめます。化学調味料を極力使用せず丁寧な出汁を取った食事が好評です。</p> <p>天気が良ければ、夜には空一面の星空が広がり、ハンモックを借りて寝ころびながら鑑賞することもできます。</p>	<p>秋吉台西台の北東山麓に位置する池。湧き出る水がやや白濁していることから「白水（しらみず）の池」と呼ばれるようになりました。池の中央には祠があり、神聖な静寂の中で水の流れる音と小鳥のさえずりを聞くことができます。一年中涸れることのない豊富な湧水は、石灰岩を溶かしながら湧き出てくるため、カルシウムや重炭酸イオンを豊富に含んでおり、古くから周辺地域の農業用水として利用されています。</p> <p>朝晩の寒暖差のある季節の午前中には、池の表面に白い霞ができ、こんこんと湧き続ける白濁した水とゆっくりと動く霞が何とも神秘的。非現実的な光景が広がります。</p> <p>※関連事項：江原ウパーレ集落を参照</p>	<p>明治 25 年以來 114 年の歴史を持つ「八代小学校」の廃校に伴い、跡地活用として地域住民と都市住民との交流の場・地域活性化の場、また地域住民が気軽に集い、おしゃべりを楽しむ場所を作りたいと、八代振興会が中心となって平成 20 年に再出発。同校舎横を流れる川に天然の蛍が舞う時期（6 月第 2 土曜）には「秋芳八代ほたる祭り」、近隣のそば畑に一面の白い花が咲く時期（9 月第 2 土曜）には「秋芳八代そば花フェスタ」が開催されます。八代地域産のそば粉を使用するそば打ち体験は、手打ち肉そばとそば饅頭 or そば羊羹のセットで 6 名から楽しめます。</p> <p>事前連絡をすれば会長の中村久さんによる地域の歴史や文化、振興会の活動の話を知ることができます。また八代では、涼しい場所と豊富で綺麗な水で元気に育つわさびが採れることで、わさび漬も名産。</p>
【 半田弁天湧泉 】	【 秋芳梨 梨狩り 】	【 梶岡牧場 FIRE HILL 】
		
<p>美祢市秋芳町別府地域と長門市三隅地域を結ぶ県道 36 号線沿いにある湧水地。</p> <p>6 年前にリニューアルし、水質・成分表示板だけでなく、八代地域の紹介が書かれた手描きの看板が掛けられたほか、駐車場が整備されました。</p> <p>別府弁天池というビッグネームの湧水地が近隣にあるため、こちらはあまり名が知られていませんが、名水ツウの人の中には、県内でも最高レベルだと称賛する人も。県内外の飲食店で、この水でコーヒーを淹れたりお冷として提供したりする店もあるそうで、週末はタンクを持ってきた人で賑わっています。俳人の種田山頭火もこの地を訪れて水を飲み、「ほんにうまい水がある。注連張ってある」と詠んでいます。</p>	<p>明治 37 年に 20 世紀梨を秋吉台で栽培するのが始まりで、「秋芳梨」と命名され 100 年以上の歴史を持っています。シャリツとした食感と、爽やかな風味が特徴です。カルスト台地のカルシウムを豊富に含んだ土壌は、梨栽培に最適です。</p> <p>現在秋芳梨生産販売協同組合に加盟している農家は 36 戸で、高齢化や後継者不足で最盛期の 88 戸から半数以下に減っています。ところが、ここ 10 年間で新たに梨栽培に取り組む人（栽培農家の若い後継者、定年退職後に帰農した人、農業が全く初めての新規就農）が増え始め、36 戸のうち 15 戸がこのケースに当たり、生産者の平均年齢はかなり若くなってきているのです。</p> <p>梨狩りは、もぎたてのみずみずしい梨が食べ放題に、お土産 2 玉が付いておトク！</p>	<p>秋吉台の南部にある、繁殖、肥育から加工、レストランまでを備えた、50 周年を迎える歴史ある牧場です。</p> <p>山りの澄んだ空気と豊富な水源を利用して肉用牛、完熟発酵堆肥、各種野菜・野草・ハーブ等を自家生産し、直営レストラン「FIRE HILL」に供給しています。美祢インターチェンジから秋吉台の観光ルート上に位置するこの地域を、ただ通過するだけのものではなく風土と産物を生かしたヨーロッパの田舎を思わせる都市と農村が交流する場に、とオープンして約 30 年。訪れた人が生産現場を実際に見ることができ、生産者と消費者の互いの顔も見える安心・安全な食を提供。丹精込めて育てたとびきりの肉は、香り高いハーブと一緒に焼いていただきます。手作りのハーブウインナーや、牛一頭の肉だけから作られる血統書付きハンバーグも必食！</p>

【 古民家ゲストハウスひまわり 】	【 江原ウバーレ集落 】※ジオサイト	【 西寺水神公園 】
		
<p>オーナーは北九州市から美祿市に移住した旅好きな女性。築 60 年の納屋を改装し、最大 14 名が宿泊できる宿としてオープンしました。</p> <p>エントランスには食事や交流の場として活用できる共用スペースがあり、宿泊者が自由に食べ物を持ち寄って飲み会を開いたり、ギターや三線を弾きながら歌ったりして寛げます。地域の人との繋がり、宿泊する人同士の繋がりができ、人と人の輪が広がり、旅にまたひとつ思い出が重なります。都会からの宿泊者からは、ゲストハウス周辺ののどかな風景を眺めながら、非日常の時間を過ごせると大好評。</p>	<p>秋芳町江原地区は、秋吉台西台に位置し、ウバーレ（複数のドリーネがつながった谷状の地形）の中に発達した集落です。他の集落とは隔離されており、すり鉢状の谷に家屋が密集しています。カルスト地形のため地表に川は無く、降った雨水はウバーレ内の複数の「吸い込み穴」と呼ばれる縦穴に流れていきます。この「吸い込み穴」に吸い込まれていった雨水は、地中を伝って直線距離で約 2 km 離れた「白水の池」にも湧き出ています。</p> <p>水が乏しい江原地域では、主に麦や野菜の栽培が行われていますが、昭和 55 年頃までたばこの栽培もさかんでした。集落には現在でも、数軒のたばこ乾燥小屋の建物が残っています。</p>	<p>西寺水神公園は、雁飛山（がんびさん）の東の麓にある溪流に沿って遊歩道が整備された公園です。</p> <p>遊歩道に沿って 20 分ほど山を登ったところにある「水神社」では、毎年 7 月の第 1 日曜日には安全祈願・商売繁盛を願って、関係者による滝開きの式典が行われます。流れ落ちる滝を眺めながら楽しめる流しそうめんには、涼を求めて県内外から多くの人々が訪れます。滝壺の水で冷やしたラムネや、焼鳥・おでんなどのサイドメニューも人気。</p> <p>秋が深まると、紅葉の名所として散策するのもおすすめです。</p>

【 道の駅おふく 】

<p>国道 316 号線沿いにある道の駅。敷地内に於福温泉を引き込み、全浴槽源泉掛け流しの温泉と足湯が併設された道の駅となっています。男女が月替わりで、電気風呂・塩サウナのいずれかが楽しめます（500 円）。</p> <p>ショップでは、市内外の農産物や加工品、「Mine Collection(ミネコレ)」として市の六次産品ブランドに認定したオリジナル商品を販売している。オススメは市の特産である秋芳梨を使用したカステラやワイン、温泉まんじゅう「おふくまん」。オープン当初からの名物・シャーベットスタンドでは、季節の地元野菜や果物を使用したシャーベットが常時 8 種類程度楽しめます。日本酒コーナーでは、地元・大嶺酒造の「Ohmine」をはじめとする県内蔵元の人気銘柄がほとんど揃う自慢の品ぞろえ！</p>